

📅 2月4日 甲佐町役場

平成26年度第1回上益城地区レセプト点検員研修会

## レセプト点検の効果を上げるために 点検員の疑問や注意点について説明

本会では、保険者支援の一環としてレセプト点検指導を行っている。今年度も上益城地区からの要望を受け、研修会を実施した。参加したのは山都町、甲佐町、益城町のレセプト点検員3名で、本会の審査管理課職員が講師を務めた。

研修会は、主に参加者からの質問に本会職員が回答する形で進行し、介護と医療の突合点検で再審査申し出をする場合にどうすればよいかなどの質問に対し回答した。内服薬の適応について再審査申し出をしたが査定にならなかった理由についての質問には、実際のレセプトを見ながら説明した。



また、質問にはなかったが、ヘリコバクターピロリ菌の除菌治療や、昨年12月末に承認されたパリエット錠の効能追加など、2次点検を行うときの注意点や新しい情報についても説明した。

📅 2月16日 熊本大学医学部臨床医学教育センター

第2回保健事業支援・評価委員会

## 保険者のデータヘルス計画を評価、助言

全国の国保連合会では、今年度から「国保等ヘルスサポート事業」を実施している。この事業では、保険者がPDCAサイクルに沿った保健事業を展開できるよう、国保連合会は「保健事業支援・評価委員会※」を設置して、「データヘルス計画」の策定、実施を支援、評価することが求められている。本会でも外部有識者8人（医師5人、保健師3人）による委員会を設置して、昨年10月に第1回を開催、今年度は「国保ヘルスアップ事業」を実施している9保険者を対象に支援を行っている。

第2回となる今回は7人の委員が出席し、荒木栄一委員長（熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学教授）の進行により、提出されたデータヘルス計画の評価や助言を行った。

対象保険者に関する資料はあらかじめ各委員に配布されており、事務局が要点の説明を加えたあと、委員から質問や意見が出された。「喫煙率が高い地域にはCOPDの啓発も必要では」「血圧など服薬により改善されやすい疾病については、目標値の設定をもう少し高くしては」「個別事業の目標を立てることで中・長期的目標の達成につながる」など、さまざまな意見が出されていた。さらに詳しい評価などについては後日、委員から事務局に通知され、当日出された意見も踏まえながら事務局が取りまとめ作業を行う。その後、各委員による再確認を経て、各保険者に返すことになる。

なお、来年度以降は、国保ヘルスアップ事業実施保険者のほか、支援・評価を希望する保険者も対象にする予定である。また、次回の委員会は6月頃に開催する予定である。



### ※保健事業支援・評価委員会の機能とは

- ① KDBシステム等を活用した保険者等への情報提供
- ② 保健事業の手順に沿った評価基準を活用し実施計画策定への助言
- ③ 評価基準等を活用した保健事業の評価
- ④ 保険者等職員への研修の実施

📅 2月19日 市町村自治会館別館

平成26年熊本県保険者協議会 第4回保健事業部会・医療費分析部会

# 平成27年度の活動計画などを決定

## 【保健事業部会】

各医療保険者などから12人の出席のもと開催した。

(議題)

- 1 平成26年度活動報告と平成27年度活動計画について
- 2 平成27年度特定健診・特定保健指導担当初任者研修会（初級編）の計画について
- 3 被用者保険の被扶養者健診と市町村国保集団健診の連携について
- 4 その他

1について、平成27年度も26年度と同様に、初任者研修会や医療費適正化に向けた学習会の開催、啓発ポスターの作成などの事業を実施するとともに、集団健診での連携強化（議題3）を図っていくことを決定した。

2について、1回目となる初級編を6月16日に開催するが、午後の構成を2部から1部（健診機関医師による講義のみ）にすることを決定した。

3について、現在、協会けんぽでは被扶養者健診を市町村の集団健診に合わせて実施してもらう取り組みを行っているが、この取り組みを強化もしくは広げていくこととし、まずは各医療保険者への実態調査から行っていくことを決定した。



## 【医療費分析部会】

各医療保険者や熊本県などから14人の出席のもと開催した。

(議題)

- 1 平成26年度活動報告と平成27年度活動計画について
- 2 平成24年度特定健診データについての報告
- 3 平成24年度医療費データについての報告
- 4 その他

1について、平成27年度も26年度と同様に、医療費データの集計と分析、医療費適正化に向けた学習会の開催などの事業を実施するとともに、保険者協議会が集計した医療費・健診データについてグループワークを実施することを決定した。



📅 2月24日 グランメッセ熊本

平成27年熊本県国民健康保険診療施設協議会 理事会・総会

## 平成27年度事業計画と会計予算などを決定

### 【理事会】

理事・監事合わせて6人の出席のもと開催した。

坂本不出夫会長（水俣市病院事業管理者兼国保水俣市立総合医療センター院長）の挨拶のあと、同会長を議長として協議し、すべて原案どおり承認された。

（協議事項）

- 1 平成27年度事業計画
- 2 〃 会計歳入歳出予算
- 3 役員・顧問の改選
- 4 第20回熊本県国保地域医療学会の開催
- 5 平成27年度熊本県国保地域医療学会会計歳入歳出予算

1について、5月23日に国保直診職員研修会を、10月31日に第20回熊本県国保地域医療学会を開催すること、熊本県国保連合会の広報「国保くまもと」に8年間連載してきた「地域医療の現場から」を休止することなどを決定した。

3について、平成27年3月末の任期満了に伴って新役員と顧問を選出したが、会員に異動がなかったため前役員がそのまま選出された。

4について、志垣信行国保和水町立病院事業管理者が学会長に、坂本興美上天草市立上天草総合病院長が副学会長に推薦されたほか、次回が20回の記念学会となることを考慮した上でスケジュール案や特別講演講師案などを3月20日開催の運営委員会に上程すること、参加負担金の一部見直しなどを決定した。

### 【総会】

会員施設の代表者など10人の出席のもと開催し、先に開催された理事会から上程された議案について協議し、すべて原案どおり承認された。



📅 2月27日 火の国ハイツ

平成26年度生活習慣病対策実務者研修会

## 食と栄養の基本を学び 保健指導に生かすために

この研修会は、生活習慣病対策を推進する上で食事は保健指導の最大のポイントであることから、保健師など保健指導担当者が、食や栄養の基本的な考え方や、住民が自らの食の在り方について考えることができるような指導方法を学び、今後の保健指導に生かすことを目的に開催。熊本県内の国保保険者や特定保健指導機関、熊本県保険者協議会の保健師や栄養士、事務職など約170人が参加した。

長野県在住の管理栄養士で「保健活動を考える自主的研究会」事務局の中村千恵子氏が、「健診結果に応じた栄養や食の指導」をテーマに、要所でグループ討議や実技を交えながら講義を行った。

まず講師の中村氏から、特定健診・特定保健指導の意義、食事摂取基準 2015 年版のポイントなどの確認と、体質や年齢、食べ方などの生活習慣と健診結果との関連(メカニズム)などについての説明があった。その後、受講者たちは 42 歳男性の経年票を使って、検査項目ごとにどの段階にいるのかを確認したり、保健指導で使用する資料に実際に値を書き込んで総エネルギー量や摂取できる食品の種類・量を求めるとともに、どの食品や栄養素がどの血液データに影響を与えているか、どの食品に替えれば必要量になるかなどをグループで話し合ったりして、健診結果からの読み取りと食事指導のポイントを学んだ。

講義の中で中村氏が、熊本県はかんきつ類など果実の生産が盛んで摂取量も多いことや、糖質の多い野菜の摂取量が多いことにも注目して、「野菜や果実それぞれの性質や働きを知ることが大事で、野菜などをよく摂取している人には必要な量はどれくらいか、あまり摂取していない人にはそれぞれの野菜やその栄養素にどんな働きがあってなぜ必要なのかをきちんと教えてほしい」と話すと、受講者は資料に書かれた栄養素を熱心に見比べながら話し合っていた。

